

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公開番号】特開2019-7387(P2019-7387A)

【公開日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-002

【出願番号】特願2017-122348(P2017-122348)

【国際特許分類】

F 04 B 1/22 (2006.01)

F 03 C 1/253 (2006.01)

【F I】

F 04 B 1/22

F 03 C 1/253

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月19日(2019.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

斜板を有する可変容量型の油圧ポンプまたはモータにおいて、  
ハウジングに支持され、前記斜板の傾転とともに回動するレバーと、  
前記レバーの移動量を検出するストローカセンサと  
を備えることを特徴とする、油圧ポンプまたはモータ。

【請求項2】

請求項1に記載の油圧ポンプまたはモータにおいて、  
前記レバーは、前記斜板に接触する接触点と、前記ストローカセンサで測定される測定部とを有することを特徴とする油圧ポンプまたはモータ。

【請求項3】

請求項2に記載の油圧ポンプまたはモータにおいて、  
前記レバーは、前記レバーの回動軸に対して垂直な第1平面上に配置され、前記第1平面に斜交する第2平面上に前記測定部を有することを特徴とする油圧ポンプまたはモータ。

【請求項4】

請求項2に記載の油圧ポンプまたはモータにおいて、  
前記レバーは、前記レバーの回動軸に対して垂直な第1平面上に配置され、前記第1平面に直交する第2平面上に前記測定部を有することを特徴とする油圧ポンプまたはモータ。

【請求項5】

請求項3または請求項4に記載の油圧ポンプまたはモータにおいて、  
前記レバーは、前記斜板の位置をフィードバックするサーボ弁と接触するサーボ弁接触部を有することを特徴とする油圧ポンプまたはモータ。

【請求項6】

請求項5に記載の油圧ポンプまたはモータにおいて、  
前記サーボ弁は、前記サーボ弁を前記レバーの前記サーボ弁接触部に第1のバネで押しつけるバネ箱を有し、

前記ストロークセンサは、接触子を前記レバーの前記測定部に押し付ける第2のバネを有し、

前記サーボ弁および前記ストロークセンサは、前記レバーの回動軸を中心に同じ方向にモーメントがかかる方向に取り付けられることを特徴とする油圧ポンプまたはモータ。

【請求項7】

請求項5に記載の油圧ポンプまたはモータにおいて、

前記レバーは、前記レバーの回動軸を挟んで前記測定部および前記サーボ弁接触部を有することを特徴とする油圧ポンプまたはモータ。